

# V 実現に向けて

## 1 パートナーシップ

### ◆市民、事業者、行政がパートナーシップで取組を推進します。

- ・ビジョンの実現に向けて、市民活動や地域活動、企業活動はそれぞれの独立した取組ではなく、市民、事業者、行政が、自分のできることを進めながら補い合い、相互に刺激し合うパートナーシップで取組を進めていきます。
- ・「自分たちが何を大切にし、今、何ができるか」を考え、具体的な行動を起こしていくことで、ビジョンの実現を目指します。

---

### ◆鯖江市内外の様々な社会の担い手とも連携を充実します。

- ・AI や IoT などのデジタル技術を積極的に活用し、世界の動向、地域内外の動向を踏まえつつ、様々な分野で活躍している持続可能な社会の担い手とも連携しながら、ビジョンの実現を目指します。

---

### ◆SDGsの実現への寄与の観点から、取組を推進していきます。

- ・ビジョンで示す考え方や方向性は、持続可能な地域づくりに向けた道標であり、「エリアの目指す姿」の実現に向けた様々な取組によって SDGsの実現に寄与していきます。

## 2 フォローアップ

### ◆ビジョンから生まれた主体的な取組や成果を確認します。

- ・このビジョンで示すことを大切にしながら、地域や企業、行政でどのような取組が生まれたか、考え方や方向性がどのような成果に繋がっているかなどについて、定期的に確認します。
- ・特に、様々な主体による自発的な取組については、社会の変化やタイミング、地域や各々の実情、個々の興味や関心、取組の内容等を分類するなど、ビジョンで描く「エリアの目指す姿」をより具体化する取組として考察・分析を行います。

---

### ◆具体的な取組事例を蓄積し、情報発信やプラットフォームづくりを推進します。

- ・地域や企業、行政における取組事例を蓄積し、それぞれの地域や企業において主体的に活動していく際のヒントとして活用できる情報発信やプラットフォームづくりを進めます。

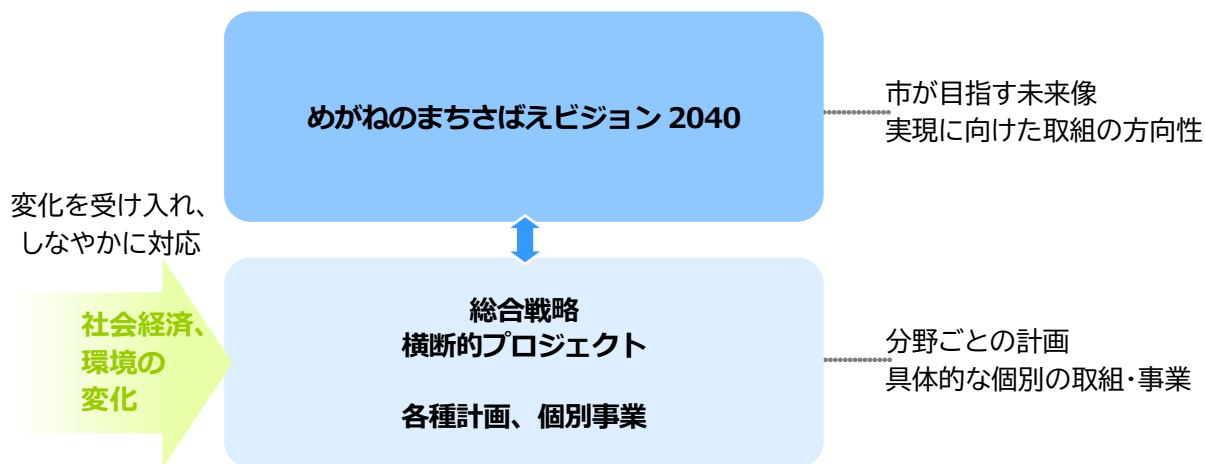
### 3 ビジョンの活用(行政運営・行政経営の基本姿勢)

#### ◆ビジョンを活用し、持続可能な行財政運営に繋がります。

- ・人口減少時代の中で多様化・複雑化する行政ニーズに応えるため、デジタル技術やビッグデータ※等を積極的に活用するなど、効率的で健全な行財政運営を行うとともに、安定した財政基盤を確立し、持続可能な行財政運営に繋がります。
- ・目指す世界観の実現に向けて、政策的かつ横断的に推進していく取組については、総合戦略などに位置付けて推進していくなど、持続可能な行財政運営に取り組みます。
- ・公共施設等については、限られた財源の中で、需要に応じた適正な規模にしていきます。

#### ◆ビジョンの運用に当たって、時代の変化にしなやかに対応していきます。

- ・今後、社会や地域の状況が大きく変化することが予測されていることを踏まえると、行政に求められるニーズや行政の果たす役割、地域の課題なども変化していくと考えられます。
- ・また、課題が起こる度に、その場しのぎの対応になってしまえば、目指す世界観を実現することは難しくなります。
- ・ビジョン策定後の様々な取組について、中長期的にどのような意味を持つのかを捉えなおし、目指す世界観を実現するために、様々な変化を受け入れ、しなやかに対応していきます。
- ・各分野の有識者等で構成する「鯖江市総合戦略推進会議」において、ビジョン策定後の様々な取組や成果等の評価・検証を行い、ビジョンの実現に向けたより良い取組へ繋げていきます。



# 参考資料

## 1 用語集

### あ行

#### アクティビティ

(英語:Activity) 何らかの目的を持って行われる行為や、特定の分野での作業や運動を指す。社会的、文化的、レクリエーション的なイベントやプログラムを指すこともある。

#### アンテナショップ

単なる観光物産案内所ではなく、地域の総合情報を受発信するとともに、特産品販売施設や飲食施設等を設置している店舗のこと。

### か行

#### カーシェアリング

一台の自動車を複数の人が共同で使用する。排出ガスの削減や道路の渋滞対策として取り組まれている。

#### クリーンエネルギー

化石燃料の燃焼や原子力などと異なり、廃棄物によって環境を汚染することのないエネルギーのこと。太陽熱・地熱・風力・波力など、地球環境に悪影響を及ぼさない方法で発電されたエネルギーがあげられる。

#### 交流人口・関係人口

交流人口は、旅行などで、その地域に訪れる(交流する)人およびその総数のこと。関係人口は、他地域から来てイベントの手伝いをするなど、様々な形で地域とつながりをもつ人およびその総数のこと。

#### 国勢調査

わが国の人口およびその性別や年齢、配偶の関係、就業の状態や世帯の構成といった「人口および世帯」に関する各種属性のデータを把握するため、5年間隔で実施する全数調査のこと。

### 国立社会保障・人口問題研究所

厚生労働省の施設等機関。人口研究・社会保障研究、人口・経済・社会保障の相互関連についての調査研究を通じて、福祉国家に関する研究と行政を橋渡しし、国民の福祉の向上に寄与することを目的としている。

### さ行

#### サードプレイス

自宅、学校、職場とは別に存在する、居心地のいい居場所のこと。ストレスの多い現代社会において、ストレスから解放され憩うことのできる場所の重要性が注目されている。第3の居場所。

#### 再生可能エネルギー

化石燃料とは異なり、利用しても減少しない、または比較的短期間に再生するため、枯渇せず繰り返し利用できるエネルギーのこと。

#### サブスクリプション

製品やサービスなどの一定期間の利用に対して、代金を支払う方式。「定期購読、継続購入」を意味し、商品やサービスを所有・購入するのではなく、一定期間利用できる権利に対して料金を支払うビジネスモデルを指す。

#### シビックプライド

(英語:civic pride)自分が住んでいる地域に対する誇りのこと。「郷土愛」に加え、地域を良くしたい、地域に貢献したいという積極的な心情が含まれる。

## スマートシティ

国の「第5期科学技術基本計画」で示された社会像「Society5.0」の一環として企画立案され、「ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメントの高度化により、都市や地域の抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、持続可能な都市や地域」と定義されている。

## ゼロカーボンシティ

(英語:Zero-carbon city)2050年(令和32年)までに二酸化炭素排出量「実質ゼロ」の実現を目指す旨を表明した地方自治体のこと。

## た行

### ダイバーシティ

(英語:diversity) 多様性を意味し、年齢、性別、人種、宗教、趣味嗜好など様々な属性の人が、組織や集団において共存している状態のこと。

## 脱炭素

地球温暖化の原因となる、温室効果ガスの実質的な排出量ゼロを実現することをいう。ゼロカーボンと同意義。

## デジタルトランスフォーメーション(DX)

(英語:Digital Transformation)の略。AIやセンサー等ICT技術の活用、各種デジタルデータの連携により、人々の生活をより良いものへと変革するという考え方。

## は行

### ビジョン

(英語:vision)一般的には、将来の構想、展望の意味。本ビジョンでは、目指す世界観、目指す未来像やゴール、実現したい将来のまちの姿などの意味で使用している。

## ビッグデータ

(英語:big data)膨大かつ多様で複雑なデータのこと。個人が SNS 等で発する情報、購買情報、走行記録、医療機関の電子カルテの情報など、日々生成される多岐に渡るデータ群を指す。

## ブランド

(英語:brand)自己の商品を他の商品と区別するために、自己の商品に使用する名称や標章のこと。銘柄。商標。特に優れた品質をもつとして知られている商品の名称や標章。食や伝統、自然環境といったさまざまな有形・無形の地域の魅力となる地域資源なども含まれる。

## ら行

### リモートワーク

(英語:remote work) 会社とは別の場所で働く勤務形態のこと。自宅でも働けるため介護や子育てとの両立ができる、台風や大雨のような自然災害時でも出社する必要がないなど、通勤時間の削減により業務効率が高められる。

## アルファベット・数字

### AI(エーアイ)

(英語:Artificial Intelligence)の略。人工知能のこと。コンピュータがデータを分析し、推論や判断、学習などを行う、人間の知的能力を模倣する技術のこと。

### AR(エーアール)

(英語:Augmented Reality)の略。現実の空間にデジタルで作られた情報を重ねて表示する技術や体験のこと。

### EC(イーシー)

(英語:Electronic Commerce)の略。電子商取引のこと。インターネットなどのネットワークを利用して、電子的に契約や決済といった商取引をすること。企業間での取引はもとより、Web 上にしか店をもたないオンラインショップなど、企業と個人、また個人と個人の間での EC も活発化している。

## GIGA(ギガ)スクール

GIGAスクール構想に基づき環境整備された学校等のこと。GIGAスクール構想とは、教育現場において、1人1台の端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するICT環境整備についての構想のこと。個別最適化した教育ソフトを活用し、多様な子供たちの資質・能力を、誰一人取り残すことなく育成し、教師・児童生徒の力を最大限に引き出すことを目的としている。

## ICT(アイシーティ)

(英語:Information and Communication Technology)の略。デジタル化された情報通信技術のこと。メールやチャット、SNSといったコミュニケーションツールや、ECサイトなどのWebサービスなどを指す。

## IoT(アイオーティ)

(英語:Internet of Things)の略。コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体(もの)に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり、相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。

## MaaS(マース)

(英語:Mobility as a Service)の略。地域住民や旅行者一人ひとりの移動ニーズに対応し、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ検索・予約・決済等を一括で行うサービスのこと。

## QOL(クオリティ・オブ・ライフ)

(英語:Quality of Life)の略。生活の質、人生の質のこと。主に福祉分野で、「単に生きるだけではなく、自分らしさを保って充実した人生を過ごす」という意味で使われる言葉。

## SDGs(エスディーゼズ)

(英語:Sustainable Development Goals)「持続可能な開発目標」の略。先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の3つのバランスがとれた持続可能な社会を目指す2030年までの世界共通の目標のこと。貧困や飢餓、環境問題、経済成長やジェンダーなど、広範な課題を網羅し、17の目標、169の達成基準、232の指標が決められている。

## Society5.0(ソサイエティ 5.0)

狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く、新たな社会のこと。サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会のことを言う。

## U・Iターン

都会から地方に移住することをUターン、Iターンなどと呼び、Uターンは生まれ育った地域から一度都会に出た人が地元に戻ることに、Iターンはゆかりのない地方都市へ移住することを言う。

## Well-being(ウェルビーイング)

幸福な状態のこと。世界保健機関(WHO)では、「個人や社会のよい状態。健康と同じように日常生活の一要素であり、社会的、経済的、環境的な状況によって決定される」と定義している。ウェルビーイングを測る指標としては、「人生への幸福感や満足感」、「生活への自己評価」、「うれしい、楽しいなどの感情」などが挙げられ、一人ひとり異なり、いろいろな要素から形づくられているものであるため、健康、福祉、経済、精神的な満足感など多方面から考えていくことが求められている。

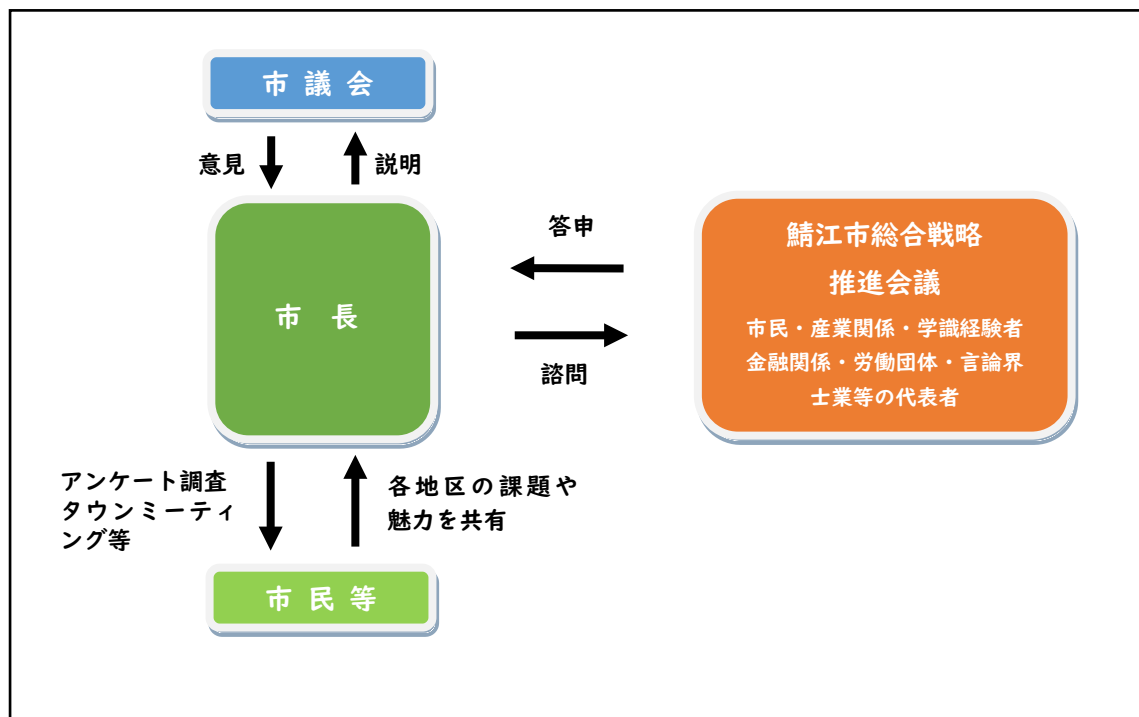
## 6G

(英語:6th Generation Mobile Communication System)「第6世代移動通信システム」の略。現在商用利用されている5Gの次の無線通信システムとして開発が進められている。地球上のあらゆる場所や宇宙空間でデータの送受信が可能になり、地球上のありとあらゆるデータが収集されるようになると言われている。

## 2 付属資料

### (1) 策定体制

各分野の有識者等で構成する「鯖江市総合戦略推進会議」において「鯖江市デジタル田園都市構想総合戦略」と一体的に策定を行いました。



※諮問書、答申書は、「鯖江市デジタル田園都市構想総合戦略」に掲載

### (2) 総合戦略推進会議開催日程

| 推進会議 | 開催日        |
|------|------------|
| 第1回  | 令和5年 6月13日 |
| 第2回  | 令和5年 9月26日 |
| 第3回  | 令和5年12月 1日 |
| 第4回  | 令和6年 1月26日 |

### (3) 鯖江市総合戦略推進会議委員

会 長： 川島 洋一

副会長： 加藤 団秀 ・ 竹部 美樹

(50音順 敬称略)

| 所属等                                | 氏 名     | 備考         |
|------------------------------------|---------|------------|
| 鯖江高等学校 校長                          | 浅井 裕規   |            |
| 東洋大学経済学部総合政策学科 教授                  | 井上 武史   |            |
| 鯖江おせっ会 代表                          | 上嶋 睦美   |            |
| 鯖江商工会議所 会頭                         | 加藤 団秀   |            |
| 地域おこし協力隊                           | 川口 サマンサ |            |
| 福井銀行鯖江支店 支店長                       | 川上 貴義   | R6.1.25 まで |
| 福井工業大学地域連携研究推進センター長                | 川島 洋一   |            |
| 鯖江市J K O G課 代表                     | 栗田 もも乃  |            |
| 福井信用金庫 総合企画課 課長                    | 小島 博樹   |            |
| J A福井県 丹南基幹支店鯖江東部ふれあいセンター長         | 齋藤 淳一   | R5.9.26 から |
| J A福井県 専務理事                        | 齊藤 雅幸   | R5.9.25 まで |
| 福井新聞社鯖江支社 支社長                      | 佐々木 哲也  |            |
| 谷口総合法律事務所 鯖江支所                     | 佐藤 孝一   |            |
| (一社) 福井県眼鏡協会 事務局長                  | 島村 泰隆   |            |
| 協同組合鯖江市繊維協会 青年部長                   | 高島 祥彰   |            |
| 鯖江商工会議所青年部                         | 竹内 依里   |            |
| 鯖江市民主役条例推進委員会                      | 竹部 美樹   |            |
| 福井銀行鯖江支店 支店長                       | 坪川 義彦   | R6.1.26 から |
| 福井村田製作所労働組合 (連合福井丹南地域協議会)          | 富坂 遥    |            |
| 越前漆器協同組合 青年部副会長                    | 中野 喜之   |            |
| 鯖江市区長会連合会 副会長                      | 中林 尋和   |            |
| 福岡農園 代表                            | 福岡 弘己   |            |
| Code for Sabae 代表                  | 福野 泰介   |            |
| 鯖江市小中学校校長会 会長                      | 藤枝 美由紀  |            |
| さばえ男女共同参画ネットワーク 副会長                | 水嶋 栄子   |            |
| (一社) 鯖江観光協会 理事                     | 山本 初治   |            |
| 鯖江市子ども子育て会議 (吉川地区子育て支援ネットワーク委員会会長) | 若林 みゆき  |            |

## (4) 策定にあたっての主な意見交換・意向調査

### I タウンミーティング

様々な立場の人たちの意見を反映させるため、地区の皆さんと意見交換を実施しました。

| 開催日        | 会場     | 地区                                     |
|------------|--------|----------------------------------------|
| 令和5年 7月26日 | 神明公民館  | ・ 鯖江地区<br>・ 新横江地区<br>・ 神明地区            |
| 令和5年 7月27日 | 吉川公民館  | ・ 立待地区<br>・ 吉川地区<br>・ 豊地区              |
| 令和5年 7月31日 | 北中山公民館 | ・ 中河地区<br>・ 片上地区<br>・ 北中山地区<br>・ 河和田地区 |

### II 各地区意見募集

「地区の特性」(P15～34) および「地域のまちづくりビジョン（エリアビジョン）」(P39～48) について、各地区の意見を反映させるため、意見募集を行いました。

| 開催日                   | 内容                      |
|-----------------------|-------------------------|
| 令和5年12月 4日<br>～12月22日 | 鯖江市区長会連合会を通し、各地区区長会長に依頼 |

### III 鯖江市議会

特別委員会（さばえの未来に向けた特別委員会）において、「めがねのまちさばえビジョン2040」の策定経過を協議事項としました。

| 開催日        | 内容                                                          |
|------------|-------------------------------------------------------------|
| 令和5年 9月19日 | 策定の進捗状況や資料を説明                                               |
| 令和5年10月17日 | 策定の進捗状況や資料を説明<br>市議会議員を対象としたワークショップに参加                      |
| 令和5年11月15日 | 特別委員会主催の勉強会に参加<br>「福井県長期ビジョンについて」<br>(講師) 福井県未来創造部長 藤丸 伸和 氏 |
| 令和5年12月19日 | 策定の進捗状況や資料を説明                                               |
| 令和6年 2月 2日 | めがねのまちさばえビジョン2040（素案）を説明                                    |
| 令和6年 3月13日 | パブコメ等意見反映の内容説明                                              |



## IV 市民アンケート

鯖江市にお住まいの方や鯖江市内に勤め先があるなど鯖江に関わりのある方を対象に、鯖江市の現状や課題、今後のまちづくりに対する想いや考え等を把握し、現在検討中の「さばえ将来ビジョン」における将来像やまちづくりの方向性の参考とすることを目的にアンケート調査を実施しました。

### 1) さばえの未来を決めるアンケート（一般）

実施期間：令和5年8月

対 象：鯖江市内にお住まいの方や鯖江に関わりのある方

回答方法：WEBアンケートによる回答

回 答 数：223名

### 2) さばえの未来を決めるアンケート（高校生）

調査期間：令和5年7月

対 象：鯖江市内の高校に通う2年生

回答方法：WEBアンケートによる回答

回 答 数：207名

### 3) さばえの未来を決めるアンケート（中学生）

調査期間：令和5年7月

対 象：鯖江市内の中学校に通う2年生

回答方法：WEBアンケートによる回答

（学校支給のタブレット端末で、二次元バーコードまたはURLから回答フォームにアクセス）

回 答 数：558名

## V パブリックコメント

第4回総合戦略推進会議で議論した将来ビジョン（素案）について市民の意見を募集しました。

実施期間：令和6年2月20日～令和6年3月5日

応 募 数：1件

応募意見：2件

# 行動しよう 思いをカタチに

コノチカラ、つなぐさばえ

めがねのまちさばえビジョン2040

令和6年（2024年）3月

発行／鯖江市

編集／鯖江市 政策経営部 総合政策課

〒916-8666 福井県鯖江市西山町13番1号

T E L 0778-53-2263

E mail SC-SogoSeisaku@city.sabae.lg.jp